製品安全性確保に向けた取り組み（品質保証）

基本的な考え方

トピアグループは、現状に満足することなく、常に技術力およびモノづくりに関わる業務品質の向上に努めています。お客様に満足いただける安全・高品質な製品を提供することを目指し、グループ共通の品質意識のもとで日々取り組みを推進しています。また、品質マネジメントシステムの認証取得と継続的な更新を通じて、すべてのステークホルダーから信頼される企業を目指していきます。

品質マネジメント体制の構築・維持

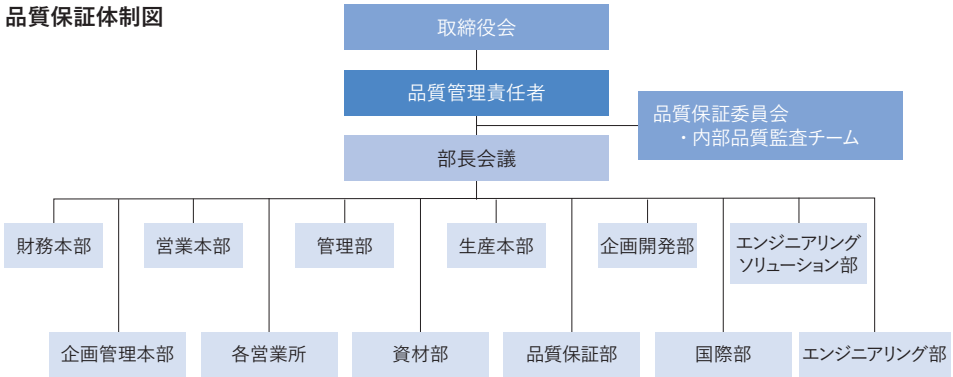
トピアは、製品・サービスの品質と安全性の確保・向上を目的に、2009年にISO9001（品質マネジメントシステム）、2011年にJIS Q 9100（航空・宇宙・防衛分野の品質マネジメントシステム）を取得しました。

これらの品質マネジメント体制を継続的に運用するため、定期的な内部・外部審査を通じて、認証の維持と継続的な改善に取り組んでいます。

ISO9001 登録証

JIS Q 9100 登録証

品質保証体制図



継続的な品質向上を支える体制づくり

● 品質パトロールを軸とした組織的な品質向上への取り組み

各製造工程における品質管理はもちろん、現場での作業手順や 5S、作業環境、変化点の確認を目的としたパトロールを、品質保証部が中心となって定期的に実施し、品質改善事例を全社で共有しています。また、不適合のデータを分析し、再発防止と未然防止に取り組んでいます。

過去トラ掲示板

● 品質保証に向けた仕組みづくり

製造工程における品質保証を徹底するため、当社ではマネジメントシステムを活用し、各工程の品質手順を明確化・標準化しています。管理項目の見える化によって作業のバラツキを抑え、安定した製品品質の実現に取り組んでいます。また、定期的な監査を通じてシステムの有効性を検証し、継続的な改善に結び付けています。さらに、定期的な品質教育や、品質標語の社内公募といった活動を通じて、社員一人ひとりの品質意識の向上を図り、全社一丸となって品質向上に取り組んでいます。

品質標語表彰式

Message

執行役員
品質保証部
出口 峰之

グローバルに挑む品質保証の姿勢

高品質で安全な製品をお届けするため、国内外で一貫した品質保証体制を構築しています。お客様の要求を満足させるため、品質マネジメントシステムに基づき部門間の連携強化を図っています。具体的には、現場や拠点と積極的に対話を実施し、測定を通じて工程や品質の状況把握に努めています。

製品の特色や変化点、海外製品の品質管理の経験を活かし、さまざまな品質精度の向上に努め、グローバルでより高度なモノづくりを追求していきます。

高付加価値製品の開発

基本的な考え方

ステークホルダーとの協働による製品開発

お客様をはじめとする様々なステークホルダーの声をトピアグループの意思決定に反映させ、業務の革新や品質向上に活かしています。ステークホルダーとの相互理解と協働を深めることで、社会課題の解決やお客様の期待に応える高付加価値な製品を開発し、さらなる価値創出に向けた継続的な取り組みを推進していきます。

多様な設備

一点ものから多品種小ロット生産までを実現

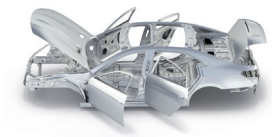
安定した生産体制を構築するためには人財だけでなく最新設備への投資も必要となります。小型部品のみならず、車両一台を組み立てる社内一貫生産ラインを保有し、小ロット生産も可能な設備を揃えることでモノづくりの可能性を広げ、課題解決につなげていきます。グローバルな開発競争が激化する中、将来にわたり競争有利性を維持するために設備力を強化していきます。

接合ライン

工程短縮と軽量化を実現する一体成形新工法開発

需要とニーズを具現化し脱炭素社会に貢献

一体成形のプレス工程を行うことで、金型の製造から車両一台の完成までの一貫体制を構築。解析シミュレーションに基づく工程の短縮を図り軽量化につながる高ハイテン材においても溶接以外の接合技術を多用することで、総合的に大幅なCO_2削減に努めています。


BIW (Body in White)

コスト性に優れた軽量化を提案

多種多様な製品の軽量化を提案

軽量化・小型化の要求は自動車業界だけではありません。あらゆる材料に精通した設計者と技術者を育成し、お客様に対し最適化を提案します。生産設備・検査設備のシミュレーションを内製化するとともに、金型設計・治具設計の同時進行や材料・設備メーカーとの協働により、高品質で低コストのモノづくりの実現を図ります。

小ロット生産への対応

小ロット生産に対応できる生産体制を整備

国内外の最新設備を複数導入し、多品種小ロット生産を実現しています。計画的・効率的に設備を使用し、緊急案件に対しては作業場の確保などを柔軟に実施し、対応しています。各工程において加工技能者の育成に注力するとともに、CAD/CAM専任の技術者を多数育成し、社内一貫体制で取り組むことにより低コストかつ短納期を実現しています。

技能者の育成

確かな技術力で築く「トピアブランド」の提供

技能研修制度、業務に必要な公的資格取得支援や、外部教育機関の活用、OJTに注力しています。難易度の高い仕事については、物理的、技術的な課題を克服し、「トピアブランド」としての高付加価値製品を提供するため、国内外で技能者の育成に努めています。

成長を実感する職場づくり（人的資本経営）

基本的な考え方

トピアグループは、すべての従業員および関連するステークホルダーの基本的人権を尊重し、国際的な人権基準を遵守しています。また労働環境の維持・向上に努めるとともに、平等な機会の提供と公正な待遇の確保に取り組んでいます。児童労働や強制労働の排除、倫理的な採用の徹底、差別やハラスメントの防止、ダイバーシティ＆インクルージョンの推進などを通じて、従業員がより豊かで安心して働き、成長を実感できる環境づくりを目指していきます。

【人的資本経営における主な取り組み】

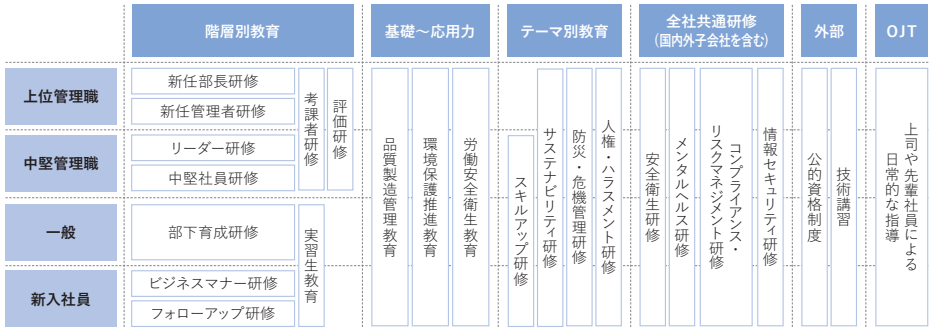
❶ 人権の尊重
❷ 一人ひとりが成長を実感できる環境づくり
❸ 多様な人財が活躍する職場づくり
❹ グローバル人財の育成
❺ 労働安全衛生・健康経営の推進

人権尊重への取り組み

トピアグループは、人権尊重を企業の重要な責務の一つと位置づけ、「トピアグループ サステナビリティ・ガイドライン」を制定し、役員および従業員が一体となって実践しています。そのガイドラインの中で、“人権尊重と公正な労働環境”に関する方針を明確に定めています。また、グローバルに事業を展開する企業として、「世界人権宣言」や「ビジネスと人権に関する指導原則」など、国際的に認められた人権規範を踏まえて策定しています。児童労働の禁止、法令に基づく適正な賃金の支給、法定労働時間の遵守、公平な採用と評価、差別やハラスメントの禁止、多様性の尊重などを具体的に明文化し、実践を徹底しています。

一人ひとりが成長を実感できる環境づくり（人財育成）

トピアグループは、価値創造を通じて社会的課題の解決に取り組むため、多様な個性やスキル、経験を持つ人財の育成を推進しています。日々の業務や教育･研修制度など、様々な機会を通じて自ら成長を遂げ、それを実感できる職場環境づくりに注力しています。



● スキルアップ研修

従業員一人ひとりが主体的に成長に取り組めるよう、毎年スキルアップに向けた目標を設定しています。部門責任者との定期的な面談を通じて進捗を確認・支援し、業務改善や自己啓発を促進。エンゲージメントの向上と成長の実感につなげています。

● 人権・ハラスメント研修

トピアグループは、外部講師による人権・ハラスメント研修を定期的に実施し、従業員が正しい知識を習得し、配慮ある行動を実践できるよう支援しています。今後も、誰もが安心して働ける職場風土の醸成を進め、意識の向上と定着を図っていきます。

● 情報セキュリティ研修

トピアグループは、情報セキュリティ委員会の指導のもと、セキュリティマネジメント体制を整備し、ハンドブックの配布や全従業員への教育を継続的に実施しています。また、サイバー攻撃や情報漏洩リスクへの対応として、管理体制を段階的に強化しています。

成長を実感する職場づくり（人的資本経営）

多様な人財が活躍する職場づくり（ダイバーシティ推進）

トピアグループでは、多様な従業員が活躍できる企業風土の醸成を目指し、女性の活躍推進、障がい者雇用、外国人従業員の活躍推進やLGBTQ+への理解促進など、様々な取り組みを進めています。従業員一人ひとりがお互いに人格･個性を尊重するとともに、人種、宗教、国籍、性別、年齢、障がいの有無などによる差別がない企業風土の醸成を進めています。

● 女性の活躍推進

トピアグループでは、女性活躍推進を重要施策の一つと位置づけ、全従業員が意欲的に働き続けられる職場･企業を目指しています。また、2030年までに、グループ全体の管理職に占める女性の割合を20%に引き上げることを目標としています。

育児休業取得率

	男性	女性
2021年度	42.9%	100%
2022年度	66.7%	100%
2023年度	38.5%	100%
2024年度	63.6%	100%

● 障がい者雇用推進

トピアでは、障がいのある方々の長期的な定着と戦力化を目指し、外部の支援も活用しながら安心して働けるやりがいのある労働環境の整備に努めています。法定雇用率を上回る障がい者雇用率を目指し、雇用支援団体やハローワークなどとの連携を積極的に進めています。

障がい者雇用率

	法定雇用率	実績
2020年度	2.0%	2.1%
2021年度	2.1%	2.1%
2022年度	2.2%	2.2%
2023年度	2.3%	2.3%
2024年度	2.5%	2.5%

● 外国人従業員の活躍推進

海外拠点や現地法人の従業員が日本国内の事業所で勤務しながら、日本語やトピアの管理手法を学ぶ機会として技能実習制度を活用した人財育成に取り組んでいます。また、モノづくり分野における人財需要の増加を見据え、海外でも「特定技能」制度を活用した人財育成に取り組んでいます。

労働安全衛生・健康経営への取り組み

トピアでは、全従業員と地域社会の安全・健康を守るため、安全衛生管理を徹底し、安心して働ける職場環境の構築に努めています。多様な設備群の中には法令上の資格を要する機器も含まれており、製品や材料の運搬時における落下・転倒災害の防止や、外部機関を活用したリスクアセスメント体制の強化を推進しています。

TOPICS

労働安全衛生マネジメントにおける国際規格認証を取得

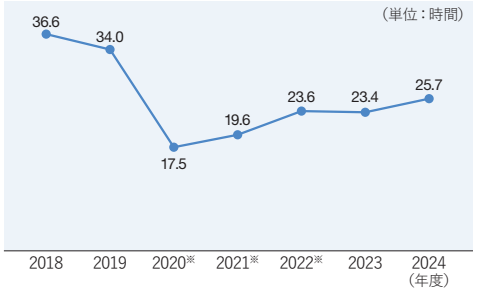
トピアは既に認証取得している品質マネジメントシステムISO9001および環境マネジメントシステムISO14001に加え、労働安全衛生マネジメントシステムISO45001の認証を2024年12月に取得しました。今回の認証取得を通じ労働安全衛生に関する管理体制を構築することができ、労働災害のリスクを特定し適切な対策を講じることにより、トピアで働く従業員の安全と健康を守り、より安全・快適で健康的な職場環境の実現を目指していきます。

ISO45001登録証

健康経営の推進

従業員一人ひとりの心身の健康が業務パフォーマンスの向上と企業の持続的な成長を図るうえで重要と考え、法令に基づくストレスチェックや長時間労働対策、さらに幅広い健康増進施策を積極的に推進しています。

時間外平均労働時間（一人当たり）



※ 2020～2022年度の3ヵ年においては、コロナ感染症の影響により一時的に時間外労働時間が減少しました。

社会貢献活動

基本的な考え方

トピアは、1973年の創業以来、各拠点やグループ各社が立地する地域の皆様からの支えを受けて成長してきました。今後も環境保全・災害支援・人財育成・地域貢献などの分野で、地域社会との会話を重ねながら積極的に活動を展開し、「人と社会」がともに豊かに生きる持続可能な社会の実現に貢献していきます。

リサイクルを通じたワクチン支援

2023年より、本社や各事業所・営業所に「ペットボトルキャップ回収BOX」を設置し、再資源化を通じた環境保全とワクチン支援に取り組んでいます。約800個のキャップが､開発途上国の１人分のポリオワクチンに相当し、尊い子どもたちの命を守る支援につなげています。

ペットボトルキャップ
回収BOX

ペットボトルキャップ
寄付証明書

スポーツチームへの協賛

トピアは三重県の様々なスポーツチームへ協賛し、積極的に活動を支援しています。2021年よりアトレチコ鈴鹿クラブ、伊賀FCくノ一三重、三重バイオレットアイリスなどの地域スポーツに加え､SUBARU BRZ GT300のモータースポーツへの協賛を行っています。また、未来を担う子どもたちに向けた体験型イベントの企画・開催を通じ、心身の健全な育成と地域スポーツ文化の活性化を目指し、今後も活動を支援していきます。

マッチデー

SUBARU BRZ GT300

地域振興に向けた取り組み

地域コミュニティへの貢献として、三重県内の大学、高校、行政と連携して様々な活動を行っています。鈴鹿市の雇用推進委員として、地元の学生や社会人を対象とした教育・雇用支援活動を毎年実施しています。また、アスリート支援機関に協賛し、地元選手や未来を担う子供たちの育成を支援し活動を盛り上げています。

● 日本文化発信の支援

アメリカ現地法人の隣接する大学の学生が訪日した際、三重県の伝統文化を学ぶ機会を設けました。

● 花火大会

三重県鈴鹿市白子港緑地公園内にて毎年開催される「鈴鹿元気花火大会」を 2014 年より支援しています。

● とこわかアスリート

三重県・公益財団法人三重県スポーツ協会が後援する、未来を見つめる三重のアスリートたちを応援、協賛しています。

TOPICS

ウミガメの保護と海の未来を守る、海岸清掃活動

2025年3月、三重県津市のマリーナ河芸近郊で実施された海岸清掃に参加しました。伊勢湾沿岸はウミガメの産卵地として知られ、長年の保護活動が続いています。小さな一歩ですが、地域の皆さまと心をひとつにし、自然環境の保全と地域との絆の大切さを実感しました。持続可能な未来づくりに向けて活動を続けていきます。

清掃活動　参加証